

緑ヶ丘だより



発行 令和3年2月
座間市緑ヶ丘地区自治会連合会

今回は自治会長以外の方に「自治会に入って良かったこと・期待すること」をテーマに、書いていただきました。

緑ヶ丘南自治会 若杉 達矩

さつき自治会 役員(班長) 宮崎 哲

5年前に緑ヶ丘に引っ越して来ました。馴染みのない土地で不安なところもありましたが、早々に自治会の組長及び子ども会の役員をさせていただく機会があり、盆踊り大会やそうめん流し、レクリエーションなどで地域の方と交流を深めることができました。また、防災意識の高さ(防災倉庫の充実さや防災訓練のレベルの高さ、防犯パトロールなど)も知ることができました。現在は地域に顔見知りの方が増え、子どもたちを見守っていただき、子どもにとっても安心感を与えられていると思います。

仕事柄、マンションの管理組合に携わっておりますが、自治会同様、役員のみならず手不足が問題となっております。また、管理組合と違って自治会の加入は任意であり、メリットをアピールしないと脱退者が増え、収入源がなくなり、何もできなくなってしまいます。例えば回覧板で、自ら情報を得ることが難しい方に対し、トレンドニュース(新型コロナウイルスの特徴や付き合い方、緑ヶ丘に新しいお店ができた等)を回すことで、自治会や地域に興味を持つ方が増えるのではないかと思います。

また、地域の会社などに宣伝チラシを入れてもらって収入を得ることで(収益事業となり難しいかもしれませんが)新たなイベントを行うことができます。

簡単にはいかないと思いますが、地域の交流はもちろんのこと、万が一の時に自然と助け合える環境作りにつながる自治会は絶対必要な組織だと思います。マスク不足の中、会員に配布いただいたときは本当に助かりました。

自治会員のひとりとして、これからも地域のために微力ながら携われたらと思っております。

私が小学6年生の時に父親の転職に伴い座間市に転入してきました。その当時は相武台自治会に入会しています。平成18年に実家から100mほど離れた区割り上では、さつき自治会の地区内の一戸建てを事務所兼住居で購入しました。

自治会加入のお誘いをいただきましたが「実家が近いし実家が自治会に入っているし」と加入しませんでした。その頃の自治会の活動で記憶にあるのは美化デーでの清掃活動です。

さつき自治会ではドブの蓋まで上げて清掃しており大変だと思いましたが、清掃された後は道路もきれいになり清々しくありがたいなと思えました。そして4年後の平成22年に5月自治会に入会し現在に至ります。

自治会活動に参加することで、近隣の方と顔見知りとなり会話する機会も増えました。このような積み重ねが地域の見えないネットワーク・つながりとなっていくのではないのでしょうか。

「期待したこと。」は今年の11月1日の美化デーでドブの蓋のコンクリートが欠けてしまっていた箇所があり、市役所に問い合わせしましたら[なおして!ざまりん]というアプリがあり写真撮って送信したら、11月2日に工事予定の赤いコーンが立ち11月3日の祝日に業者が来てくれて12月に再修理もありましたが修理が完了しました。

市役所もピンポイントで修理必要箇所がわかるので広く活用して欲しいそうです。こんな便利なサイトやアプリがあるのを市役所主導の広報等に載せるだけでなく自治会内で広めるような取り組みや伝達方法があればと思いました。

自治会役員になって、三年目を終えようとしています。私にとって自治会とは、同居していた父が健在のころは父任せで、現役で働いていたころは全くと言っていいほど関わりを持つことが無かったものです。

定年近くなり、家内から「地域とのつながりが大切、恩返しをしていかないと……」とアドバイスされ、父も役員等を受けていたこともあり定年後に役員を引き受けました。

いざ、役員を引き受けると参加する側から主催する側となり、自治会に対しての見方ががらりと変わりました。その仕事を通していろいろなことが見えてきました。

役員の仕事は自治会の行事や日ごろの活動等の段取り、会員の皆さんが活動しやすいように準備をする「縁の下」的な動きが主な役割かと思えます。それなくしては自治会の活動は成り立たないことがよくわかりました。

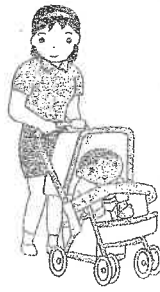
例えば、総会前には資料の印刷から製本、当日は会場の準備と後片づけ・会費の回収から銀行への入金。美化デーの前にはビニール袋・軍手・飲み物等の人数分を数えての準備。また日常の生活に必要な「ごみ収集所」の管理・運営。市民レクでは、参加者の掌握・当日のテント設営・種目の担当者など、数え上げたらきりがなくらいです。

大変なこともありますが、良かったと思えることも多くありました。役員を通して、地域の役に立っているという自覚が芽生え、人とのつながりも膨らみました。

私はリタイヤしてからの参加になりましたが、仕事をしている方も得意を活かして関わることが出来ると思えます。これからは、一人でも多くの方に自治会に参加していただき、「無理なく楽しく！」一緒に活動していきたいと思っています。

緑ヶ丘六丁目自治会 書記 井谷みゆき

自治会には、6年前に引っ越してきた際に入会しました。土地勘もなく、周りで暮らす方々のことが何もわからない状況でしたので、不安もありました。そんな中、自治会に入会し、回覧板を回すときやゴミステーションの掃除当番、ふれあいの集いや集金の際の他愛ない会話を交わすこと等を通して、ご近所のみなさまの顔がわかるようになり、挨拶だけでなく話しかけていただくことが増えていきました。



我が家には、二人の幼い子どもがおりますが、子どもたちにも話しかけていただいたり、子どもが通う保育園のバザーにとお品物をいただいたり、自転車の練習や外遊び等にご理解いただいて見守ってくださったり、ご近所の方々とのあたたかい交流が増えたことで、周りに住んでいる方の様子がわかるようになりました。そして、今現在、安心して日々を過ごすことができています。

また、今年度班長をやらせていただいたことで、さらに他班の方々のお顔もわかるようになりました。コロナの影響でなかなか交流ができなかったことが残念ですが、これをきっかけに、また少しずつ交流を深めていけるといいなと思います。

人間関係が希薄になっていく昨今、自治会の活動を通して、人と人とのこのような関係を築いていけることは、とても貴重で大切なことではないでしょうか。自治会に入ってよかったこと。それは、ご近所の方々との交流を通してよい関係を築けていることだと感じています。いつもありがとうございます。

わかば自治会 会長 熊澤 克人

東京都練馬区や静岡市等の自治会でのアンケートを見ると、「防災活動」の担い手となること。また、ゴミの仕分け・カラス問題・古紙回収等の「環境活動」についてが、自治会に最も期待をすることとして挙げられています。

また、自治会に加入していない理由として多いのは、仕事や子育てが忙しい、加入方法や活動内容が明確でない、集合住宅が元々自治会員から外れているが多いが理由となっている。今後は前記のことから、これらに絞って活動内容を明確化にして進めていったら良いと思います。

特に近い将来の大地震に備えての災害訓練については、年に数回繰り返すことにより、自治会員のすべてが数年内に全世帯が経験できるように計画をしていく必要があると感じています。それに参加することにより、自分が自治会に加入している意義を感じられるようになり、私自身がそうだったように、その他のイベントにも協力するきっかけになると思います。

座間市は、各自治会に依存しすぎている感拭えません。座間市がリードしていくことが出来ないのなら、防災倉庫の設置場所の提供や倉庫の提供、備蓄品について、市からの財政補助が大きく緩和されるように働きかけを続けていってほしいと思います。



令和2年度 小田急相武台南自治会役員一同

今回はリレー方式で掲載させていただきます。

・回覧板を通して情報を得られ地域交流などのイベントもたくさんあります。住んでいるだけではわからないことや気付かないこともたくさんあるのでイベントなどを通して自分が住んでいる地域のことを知るいい機会になると思います。

・地域の方々と顔見知りになることができ、みなさんと一緒にイベントに参加することができて楽しかったです。また、地域で問題となっていることに対して皆で意見交換をしながら解決することができるため、今後も自治会が一丸となって問題解決に取り組んでもらいたいです。

・今年度はコロナ禍で地域のイベントが減ってしまいました。しかし自治会の活動を通して地区の皆様と接する機会は増え、地域の連携の大切さを感じました。今後も助け合える関係を作り上げていきたいと思ひます。

・今回、小田急相武台南自治会役員をやらせてもらって感じたことはいろいろと問題を解決するために活動しているんだなと感じました。自治会役員になるまでは実際どんなことをしているのかも正直わかってなく、興味すらなかった感じでした。実際役員になってみて、ごみ問題、近所づきあい等会員様からきた意見要望、問題に対していろいろ対応していることに気づかされました。自治会は住みよい環境を守る大事なものだ。来年度から自治会への意見要望はごみ問題を自治会役員みんなで考えていってほしいのと集会所の落ち葉掃除、集会所の掃除を引き続き行っているしてほしいです。

・ゴミ収集場のカラス被害に悩まされ続けました。世帯数が多くゴミの量が多い上に、6区の収集場は通り沿いに面していて、住民以外の持ち込みが多く、ゴミが溢れてしまいます。収集場の網を立体的に設置したりポスターを貼る等工夫をしました。

・自治会の役員を経験させて頂きまして、1年前は自分の区さえ理解していませんでしたが、近所の事も色々知ることができて、また、一緒に役員をした素敵の方々にも巡り会えて本当に良かったと思っています。今後自治会を存続させる為には、共働き家族が当たり前の今、役員の仕事の簡略化を切に願ひます。

・みなさんの意見感想を頂き頼もしくもあります。会長職もこれで卒業です。

皆様御協力頂きありがとうございました。

「自治会へのご意見の紹介」

相武台緑ヶ丘自治会 会長 荒川 理介

今回の緑ヶ丘だよりは、会長ではなく一般の会員の方々から自治会へのご意見として、「自治会に入って良かったこと」「自治会への要望」を頂くことになりました。

今回、当自治会員の方々から頂いたご意見をご紹介します。

【自治会に入って良かった点】

「役員になって良いことは、普段、絶対に話をしない人と話せるのが楽しいと思ひます」

「役員になるまでは、全く自治会のことは無関心でした。前回の役員の方から『家族ですから』と言葉をかけられ、ハツとして、自分の心の狭さに気づかされました。まずは自分の自治会を守り、それから外に向かって気持ちを広がっていければと思ひます」

【自治会への要望】

「一番の願ひは役員の仕事が減らしてほしい」

「高齢になり、役員の順番が来るのが怖いです。この先出来ないで自治会を辞めようと考えています」

「会費を集めるのが大変なので総会で集まった人から会費を集めてほしい」

「もし役員全員がPCでの資料作成ができない時は、出来る人に自治会費から作成代を払い頼めるようにしてほしい」

「『緑ヶ丘だより』について、今まで会長が年2回記事を書くようになっていています。強制的に書かせるのは間違っていると思ひます。文章が苦手な人、生活が忙しく時間の余裕のない人にとってとても苦痛です。改善として、

- ・年1回、内容は自治会ごとに自由にする
- ・書きたい人が書く
- ・自治会の問題点など自由な意見の場にする
- ・記事が無くても強制しないことが大切です」

「役員の仕事は、市と自治連合の仕事でほぼ終わります。本来の自治会内の問題に全く時間が取れないことが問題です。要望として、

- ・年間行事が多すぎるので支援要請を減らしてほしい
- ・社協・市民レクの会合を2ヶ月に1回にするなど減らしてほしい
- ・集合場所が遠く高齢者は辛い」

「会長の仕事は、PCでの資料作成、スマホでのデータやり取り、多くの行事への参加と若い人でもとても大変です。これからの高齢化時代にそれを出来る人は更に少なくなります。これからは、PC、スマホを持っていない人、高齢者、誰もが気楽に会長が出来るように仕事を改善してほしい」



「何のために自治会があるの？」 第一住宅相武台団地自治会 木場貞成

地域住民が親睦・住み良い町づくり等の共通利益確保のために活動するために結成された「任意団体」が自治会なのです。つまり、地域住民が皆で協力し一緒になってよりよい環境の中で生活しようという志のある人の集まりが自治会です。自治会に入らなくても法的には何の問題もない訳ですし、災害支援や自治会が管理しているもの等の恩典は非自治会員も受けられるため、“タダ乗り”もできてしまうのです。最近では「人付き合いをしないで良い」と言う事を理由として自治会活動に参加しない人もいますし、ただ乗りを悪いことだと思わない無神経な人も増えているのです。そういう人には裁判で違法が言い渡された例もあります。（ごみ集積所の管理で）

一方阪神淡路大震災で救助された人の約80%は、隣近所の人たちによって救助されており、地域住民組織である「自治会」がいかに大事であるかが見直される契機となりました。この時、補償申請等の連絡で会員には確実に届いたが非会員には届かなかったそうです。災害時には自治会の会員か否かで情報等に差が出るようです。

自治会の役員をやるのがいやだからとか時間がないからとか自治会に入らない人の理由はいろいろあります。が、自治会自体が『魅力のある自治会です。』といえるかどうかも考えてみる必要があります。強制的に参加してもらえない自治会だからこそ、逆に自治会自体が従来のやり方を変え、魅力ある会に変身する必要があるのではないのでしょうか。

自治会ありき型の従来の組織によるものでなく、ユーザーニーズの解決を掲げ、住民のニーズに応えうる機能を有するようし、会員に役立つ自治会であることをアピールするようになれば、自然に皆会員になりたいと言ってくるような組織に変化出来るかもしれません。

人と人との希薄化が進む世の中で、人と人との『絆』を再生するためにも、自治会の活動はますます重要になってくるのではないのでしょうか。

- ◎ 外出先の洗面所の蛇口・ドアノブにウイルスが付着しています。手洗い・アルコール消毒を必ず。
- ◎ 冬の外出時にエリマキをしますが、30分くらいから着けていると体のために良いそうです。
- ◎ 救急車を呼んだ時に救急隊員が言うことは、「おくすり手帳」ありますかだそうです。お手元に。

「福祉施設団体職員として自治会に 関わって」

緑ヶ丘中央自治会
地域活動支援センターティセ 槇野雅文

私が自治会に入ってよかったことは、近隣の方とのつながりができたことです。自治会には、所属している福祉施設として3年前に加入致しました。その時、同じ班の方々が一斉に自治会員を辞められたため、3期連続当施設が班長（役員）を担っており、私は当施設の代表として自治会活動に参加させていただいています。

自治会活動を通し、主に自治会役員の皆様と顔見知りになれました。また、自治会行事に当事業所の利用者も一緒に参加をさせていただくことに「子ども達も色んな人と接することが大事」ということで快く賛同していただき、利用者の社会参加（福祉関係者以外の方々と接すること等）の機会が得られたことは、とても貴重です。しかしながら、職員体制が不安定なため、十分に自治会活動に協力できず、役員の皆様にご迷惑をおかけしてきたこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

今後自治会に期待することは、役員の負担を軽減しながら、無理のない形で継続をしていただくことです。現代は家族同士や近隣同士のつながりが薄れてしまい、困っている本人は相談できず、周囲も気付かない・気付いても声をかけられないような社会になりつつあります。自治会活動を通し、老若男女や障がいの有無等を問わず、緑ヶ丘地区で暮らす人全員が安心して暮らしていける地域になるよう、今後も微力ながら、当事業所としても協力していきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

その他 NHK総合テレビ等

新型コロナウイルス 医師が伝えたいこと
冬の低温・乾燥に注意

冬こそ新型コロナウイルスに感染するリスクが高くなるということです。気温が低く空気が乾燥すると、感染力をもつ時間がより長くなるそうです。今大切なこと⇒外ではマスクをしましょう。

- 飛沫による感染を減らすだけでなく
- 鼻やのどを保温・保湿する効果がある。換気も忘れずに行いましょう。鼻出しマスクはダメです。

受診控えによる健康悪化に注意

感染を恐れ、必要な通院を控えると健康を損なう可能性があり受診遅れや重症化の報告があります。

